



碧南ロータリークラブ週報

第2433回例会 平成20年11月12日(水)

- 会長 平岩統一郎 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 木村 徳雄 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



**Make
Dreams
Real**

● 齊 唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

サーモンのホイル焼き弁当 大正館

● 本日のお客様

国際ロータリー第2760地区 ロータリー財団委員会委員長 深谷友尋氏



平岩統一郎会長

会 長 挨 拶

アメリカワシントン州のシアトルから20分ほど離れたところにあります、エドモンズ市と碧南市が姉妹提携を始めて20周年を迎えることになりました。現地での式典の招待状を頂きましたので行って参りました。エドモンズ市はシアトルのボーング社のベットタウンといった位置づけなのですが、非常に風光明媚なところでもあります。丁度、紅葉の時季でありました。特に黄色の紅葉の素晴らしい町で、西日の映える景色でありました。

せっかくの訪問でしたから、エドモンズのロータリークラブにメーキャップをして参りました。碧南ロータリークラブとは姉妹提携をしてる訳ではありませんが、これで私は3回目のメーキャップになります。バナーの交換もして参りました。今回は新しい山の手にある新しいロータリークラブに参加しました。朝のロータリークラブと昼のロータリークラブと2つ存在しており、今回は昼に参加しました。日本と全く同じなのですが、食事は隅にホットドックとかハンバーガーなどがおいてあり自分で勝手に食事をするスタイルです。入り口で9ドルを払って食事をするようになっています。食事のいらぬ人は1ドルでコーヒーだけということもできます。その内ゴングが鳴って会長挨拶となります。

碧南からロータリークラブ会長が来ており50周年を迎えたと紹介していただきました。ニコボックスで1ドル縦にして各自が立って入れるようになってました。私も立って3度目のメーキャップができて嬉しかったですと入れさせてもらいました。また入り口でこんなクジがありまして1ドルで購入して会の途中で当選を発表するお遊びがありました。当り配当の半分はニコボックスに入ることとなります。40名程度の会員でありましたが、その内5・6人ほどが女性会員でして、その中で孫を連れてきて見えて、孫を紹介するのです。アメリカのロータリークラブは市長も見えますし、弁護士も見える本当に異業種の集まりだと思います。

卓話は、高齢化問題でしてその関係の方が30分程のお話をして、ゴングが鳴って終了となりました。

向こうではエドモンズ市の姉妹提携20周年の公式訪問と記念式典に参加してきた訳であります

が、前回鈴木副会長がエドモンズの市長とゴルフをしまして、鈴木副会長が市長に勝って10ドルせしめたことを覚えておられまして、急遽昼食後ゴルフをハールラウンドすることに成りました。市長も腕を上げておられて42の48で私が負けました。市長も満足して見える様でした。あちらのゴルフ場はなかにフェアウェイハウスという住宅が有りまして、途中で一緒に2名の方が参加されてきました。その内1人の方は以前碧南市に見えた方で、もう一人の方は定年をむかえ毎日ここでゴルフをしているそうです。やはり国によって生き方や楽しみ方があるんだなぁと思いました。

以上公式行事でエドモンズ訪問の報告をさせていただきました。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・本日例会集合後理事会が開催されます。
- ・今度の土日に地区大会が名古屋キャッスルで開催されます。

日曜日は7時45分に集合になっています



長田豊治幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数79名(内出席免除者15名の内出席者10名)出席者61名	
出席対象者 61/79名	出席率 82.40%
欠席者18名(病欠者0名)	前々回修正出席率 94.44%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

地区ロータリー財団委員長 深谷友尋様

今月11月はロータリー財団月間です。本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

山中 寛三君

旧制中学校の同級の永井一君を亡くして、少し悲感しています。

樫山 善久君

杉浦健次さん、石川春久さん、新美宗和さんには私と家内共々お世話になりました。

加藤丈太郎君

2回連続して例会を欠席し申し訳ありません。

先日の3クラブゴルフコンペにて39:38=77でベスグロ賞を頂きました。当クラブの例会では池田さんに優勝を譲って頂きました。

長田 昌昇君

平松太様はじめ機械金属部会の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。

加藤 良邦君

11月は財団月間です。本日第2760地区財団委員長深谷友尋様に卓話をお願い致しました。心より感謝致します。

杉浦 健次君

楽しい事がありました。

中根 佑治君

昨日の刈谷税務署の納税表彰式において表彰して頂きました。

平岩統一郎君

エドモンズRCに行き、バナー交換してきました。

黒田 昌司君

長田昌昇さん、平岩辰之さん、鈴木輝彦さんにお世話になりました。

犬塚 敦統君

11月9日(日)東海テレビ「スタイルプラス」に出して頂きました。

新美 宗和君

11月7日のシークレットライブでお世話になりました。杉浦健次さん、石川春久さん、ありがとうございました。

木村 徳雄君

新美真司さんにお世話になりました。又たびたびお世話になりますので、今後とも宜しく。

伊藤 正幸君

先週、韓国済州島で開かれたアジア予防歯科学会で発表させていただきました。

- 奥田 雪雄君 杉浦健次さん、石川春久さん、新美宗和さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 石川 唯司君 この度平成20年の秋の叙勲に際しまして、瑞宝小綬章受章の栄に浴し身に余る光栄に深く感謝致しております。ありがとうございました。
- 竹中 誠君 少し遅れましたが、還暦記念で妻と2人で3泊4日の旅に行きました。
- 平松 太君 長田昌昇さん、鈴木輝彦さん、竹下聡さんにとっても可愛がって頂きました。愛妻家竹下さん、今後とも奥様を大切にしてください。
- 山中 寛紀君 今年度の市民ふれあいフェスティバルも何とか無事終わることが出来ました。関係された多くの皆様に心より感謝申し上げます。
- 榊原 健君 11月8・9日とライラセミナーが行われ無事終了しました。受講生2人共、とても楽しかったと言っていました。

クラブフォーラム

ロータリー財団月間に向けて

国際ロータリー第2760地区ロータリー財団委員会委員長 深谷友尋

平岩統一郎会長、長田豊治幹事、加藤良邦ロータリー財団委員長より伝統ある碧南ロータリークラブへ卓話をさせていただく機会を与えていただきまして誠にありがとうございます。

本年度の地区ロータリー財団委員会のテーマを"ロータリーの心を"としました。

ロータリアンの心を多くの人々に鼓吹し、かつ地域、国内、国外へと活動の輪を広げる事です。

ロータリー財団は良い活動の理解を深めるためにクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代委員会と連携し、より多くの貢献に寄与したいと考えております。

ロータリー財団のプログラムは実践的であり、かつ「ロータリー財団はロータリーのロータリアンの為の財団」として個人ではなしえない規模の奉仕活動を実現します。ロータリー財団は過去の豊かな経験の中より、その地域に合った奉仕プロジェクトを提案し、専門職による指導を受ける事ができます。つまり、寄付だけをして後は手を出さないのではなく、ロータリアンによる奉仕プロジェクトこそ、真の奉仕活動を提唱しています。まさしく、「アイ・サーブ」の理念に基づく活動であります。

李東建RI会長は、**世界の子供たちのために「夢をかたちに」**と題して、毎日避けられるはずの病因で命を落とす、5歳未満の子供たち26,000人の夢は、誰にも気づかれないまま亡くなっています。

今年は、こうした子供たちに夢見るチャンスを与え、彼らの夢を実現させるためにご支援をいただけるよう、ロータリアンの皆さまにお願いいたします。

ロータリー財団は、奉仕の強調事項である「水」「保健と飢餓救済」「識字率向上」に引き続き取り組みます。さらに子供たちの親に読み書きのプログラムを提供し、世界中の恵まれない子供たちの「夢をかたちに」することができ、悲惨なほどの死を減らすことができます。十分な食糧ときれいな水を与えられた子供たちは十分に発育し、学習することができます。健康で教育を受けた子供たちは、成人して家庭を築き、家族を支え、その子供たちに明るい未来の夢を切り開いていくことができるのです。

ロータリー財団は「夢をかたちに」し、何千人もの子供たちに生きるチャンスを与えましょう。世界中のロータリアンは人類が直面する最も緊要なニーズに取り組む奉仕プロジェクトで、ロー



タリーの第2世紀を開始しました。

ロータリーの標語である「超我の奉仕」が組織の基本的目的をはっきりと思い起こす機会となりました。ロータリー財団の使命は、2007年規定審議会において新たに使命が次のように採択されました。「**ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界平和、親善、平和を達成できるようにすること。**」と決めました。「世界でよいことをしよう (Doing good in the world)」。アーチ・クラフがロータリー財団設立のときに述べています。今こそ全世界のロータリアンが変化をもたらすときである。

小島哲ロータリー財団地域コーディネーターは「ロータリー財団セミナー」において次のように述べられた。「今までの日本のロータリーではお金を出す方が優先され、寄付するだけで何も帰ってこないという不満も多かったが、ロータリー財団の活動に携わってみると親密な感覚が得られるものであり、ぜひ一度携わってみていただきたい」「ロータリーの本質は"思いやりの心"だと思う。ロータリー財団では『毎年あなたも100ドルを』年次寄付をお願いしているが、一ヶ月に約一千円であり、ぜひとも全員の協力をお願いしたい。」「私たちの第一の目標は、ポリオ撲滅の約束を守ることです。私たちは、今、ロータリーの1億ドルのチャレンジへの募金という手段によって、ポリオのない世界を達成する絶好のチャンスを掌中にしています。」

国際ロータリーでは、本年度の重要活動の一つに一億ドルのチャレンジプログラムを提唱し、2007年11月26日ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から、ロータリー財団に対し、一億ドルの補助金が寄せられました。これを受けてロータリーも今後三年間にこれと同額の資金を拠出することになりました。

1980年国際ロータリーはポリオの脅威から子どもたちを救うことを決意しました。125カ国に常在していたポリオ撲滅に立ち上がりました。当時1日千人もの子供たちが麻痺障害によって体の自由を奪われていました。1985年ポリオプラスが発足し、本格的な活動が始まりました。

1985年以来、二十億人の子供たちにポリオの投与をし、五百万人の子供たちがポリオの犠牲から免れることができました。1988年年間35万件の症例が報告されましたが、現在では年間2千件の症例に減少し、あと一步のところに来ました。現在はナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタンの4カ国残すのみになりました。ロータリーと国際パートナーの活動により、世界は野生型ポリオウイルスの撲滅に限りなく近づいています。皆様には更なる挑戦として年間お一人1000円の寄付をお願い致します。

以上のことから、ロータリー財団の基本的財源となる、年次寄付と恒久基金への支援が必要になるのです。あなたの寄付が世界に貢献します。100ドルの寄付でケニアの子供達二人分1年間の教育が賄えます。

当地区において2009-10年度にロータリー世界平和フェロシップ・プログラムを挑戦者を推薦することができました。「みんなの財団、私たちの財団」に参加することです。

さらに、ロータリー活動を地域社会とメディアを通じてロータリーの公共イメージを高めることも大切なことです。一般の人々にロータリーのことをわずかでも理解してもらえれば、会員や寄付者、協力者になりたいという方が増えるはずですよ

次回例会案内 平成20年11月26日 (水)
卓話「私の履歴書」会員 坂本 利彦君